

# 都市づくりワークショップ成果報告

資料 3 - 1

日時：平成21年8月22日（土曜日）9：30～16：00

場所：出島交流会館2階大講義室

参加者：一般公募、各種団体等から35名の参加者

アドバイザー：長崎総合科学大学林一馬教授、

ファシリテーター：(株)アーバンデザインコンサルタント貞清 潔 氏

参加者を7チームに分け、まち歩きによる現状調査を実施後、都市づくりのアイデア提案をいただいた。主な意見は以下のとおり。

区分(目標)	アイデア キーワード
I 国際ゲート ウェイ機能を 支える都市 機能の充実 等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 松が枝旅客ターミナルまで路面電車を乗り入れさせる</li><li>・ 新長崎駅～大波止ターミナル間に遊歩道を設置する</li><li>・ 長崎駅から大波止ターミナルまでモノレールを設置する</li><li>・ 新長崎駅～松が枝国際観光船ふ頭間に遊歩道、自転車タクシー、トロッキミニ列車を通す</li><li>・ 駅前の国道を横断させる工夫をする（歩道橋、地下道）</li><li>・ NHKや県営バスターミナルは土地区画整理事業区域内へ移す</li></ul>
II 多様な歴史・ 文化・観光 資源の保全・ 再生・創造	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 長崎港の景観向上のため、港に面したグリーンベルトをつくる</li><li>・ すり鉢状の都市の景観を活かすため、長崎市街地全体の建物の高さを規制する</li><li>・ 西坂公園から眺望を確保するため建築制限をする</li><li>・ 松が枝の歩道橋を撤去する</li><li>・ 寺町通り周辺の電柱・電線をなくす</li><li>・ 三菱の環境技術や造船など、工場見学を観光ツアーとし実施する</li><li>・ 三菱の秘宝を一般公開し観光に役立てる</li></ul>
III 回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 路面電車で桜町経由で大浦方面、正覚寺方面を新たに運行させる</li><li>・ 長崎駅など電停をバリアフリー化する</li><li>・ 旭大橋の低床化</li><li>・ 観光ルート、さるくコースのいたるところに幼児連れや老人のための休憩スペースとして木陰やおしゃれなベンチを設置し、人にやさしい回遊コースづくりを進める</li><li>・ 魚市跡地から浦上川線に接続する歩道用の橋を設置する</li><li>・ 道路混雑、駐車場不足を解消するため、長崎市中心部に観光客の車を入れさせないように、パーク&amp;ライド化する</li><li>・ 自転車にやさしい道路整備、駅前に駐輪場の整備</li><li>・ 西坂公園までのエレベーターを設置する</li><li>・ 長崎駅から稲佐山までのアクセスが悪い、駅からロープウェイ整備</li><li>・ 稲佐方面と浦上川上流に交通船を運航させる</li><li>・ 屋形船で駅と街を結ぶ（中島川～長崎港～浦上川）</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 長崎市全体を一つの文化施設と考え、市民一人一人の自覚を促す</li><li>・ 観光客が来て気持ちよく楽しめるようにまち自体をもっときれいにすべき</li></ul>

## ワークショップでのアイデア提示(チーム別整理)

(1/3)

番号	チーム	コース	アイデア
1	1	E	大黒市場をきれいにして、観光客にも来てもらえるようにする
2	1	E	観光地長崎について市民に意識向上を促す
3	1	E	新駅～港ターミナル～国際ふ頭に遊歩道、自転車タクシー、トロッコミニ列車を通
4	1	E	まちづくりのコンセプトを決め、行政と市民が一体となって実行する
5	1	E	日曜朝市を定着させ観光客を呼び込む(地元農水産品の販売促進)
6	1	E	川や道路にごみを捨てないように看板、ポスターで周知する
7	1	E	ドラゴンpromナードを利活用する
8	1	E	観光客の荷物を運ぶ無料サービスを行う
9	1	E	ごみのポイ捨てをやめる呼びかけを行う
10	1	E	無料送迎バスを運行する
11	1	E	地域の人に住みやすくなる工夫、活動を行い、周りの人も活動を支持、支援する
12	1	E	花いっぱい運動、近所の清掃、河川・港湾の清掃、イベントの運営
13	1	E	ヨットハーバー、木造船(フェイファン)をオープンにし見学できるようにする
14	1	E	ドラゴンpromナード横のトラックヤードの撤去(移動)
15	1	E	デコボコした歩道が多く歩きづらいため、自転車、障害者、高齢者にやさしい道に整備する
16	1	E	一般公開されていない三菱の秘宝を常設し、観光に役立てる
17	1	E	道路混雑、駐車場不足を解消するため、長崎中心部に観光客の車を入れさせないように、パーク&ライド化する
18	1	E	観光客向けの夜の遊び場として大衆演劇場などをつくる
19	1	E	観光ルート、さるくコースのいたるところに幼児連れや老人のための休憩スペースとして木陰やおしゃれなベンチを設置し、人にやさしい回遊コースづくりを進める
20	1	E	人口が減らないように病院の値段を安くする
21	2	B-2	住民、観光客、双方からの視点でまちづくりを行う
22	2	B-2	出島の周辺を歩きやすくする
23	2	B-2	出島の周辺に景観規制をかける
24	2	B-2	長崎港の景観向上のため、海の周り(浦上川の浦上駅裏歩道橋から長崎港内)にグリーンベルトをつくる
25	2	B-2	観光客に長崎の良さをわかってもらえるようなルートづくりを行う
26	2	B-2	港が見えるような建築制限を行う(道路から港までの距離を感じる)
27	2	B-2	風致地区内の看板を規制する
28	2	B-2	ソロバンドッグに駐車場を整備する
29	2	B-2	コンセプトをもったまちづくりを行う
30	2	B-2	自分の住む土地を知る機会を大切にする
31	2	B-2	新地蔵の周辺を復元する
32	2	B-2	浦上川左岸のグリーンベルトとして、魚市跡地から浦上川線に接続する歩道用の橋を設置する
33	2	B-2	新長崎駅は海・女神大橋が見えるようにする
34	2	B-2	市内には一方通行の道路が多いため、観光客が車移動する場合でも分かりやすいマップをつくる
35	2	B-2	すり鉢状の都市の景観を活かすため、長崎市街地全体の建物の高さ規制をする
36	3	D-2	観光客のために駅前広場を整備する
37	3	D-2	玉園町のお寺を観光に取り入れる
38	3	D-2	NHKや県営バスターミナルは土地区画整理事業区域内へ移す
39	3	D-2	駅前の高さ制限を行い眺望を確保する
40	3	D-2	駅前の国道を横断させる工夫をする(歩道橋、地下道)
41	3	D-2	手軽に長崎の産物を変える市場(朝市のような)をつくる
42	3	D-2	物、食で女性客を惹きつけるさせる
43	3	D-2	気軽に楽しめる茶店をつくる
44	3	D-2	長崎市全体を一つの文化施設と考え、市民一人一人の自覚させる
45	3	D-2	歩行者のために緑を増やす
46	3	D-2	新しい観光地を発掘する
47	3	D-2	ビューポイント、フォトポイントのマップを作り、人の回遊を促す
48	3	D-2	亀山社中までの道路を整備する
49	3	D-2	電車の乗換えをなくすため、長崎駅方面の路線を増やす
50	3	D-2	駐車場は目立たなくして景観に配慮する

## ワークショップでのアイデア提示(チーム別整理)

(2/3)

番号	チーム	コース	アイデア
51	3	D-2	みらい長崎ココウォーク裏の工場地帯(下水処理場や三菱工場)を再整備する
52	3	D-2	長崎駅から水辺の森公園までの遊歩道を整備する
53	3	D-2	長崎駅から大波止ターミナルまでモノレールを設備する
54	3	D-2	歴女を活かして、女性をターゲットとした観光客を誘致する
55	3	D-2	和文化のアピール
56	3	D-2	大河ドラマ、新幹線を呼び水にする
57	3	D-2	女性客を呼べる街にする
58	3	D-2	長崎のハトバスをつくる(コース別観光バス)
59	4	C	おくんちをアピールして街を元気にする
60	4	C	屋形船で駅と街を結ぶ(中島川～長崎港～浦上川)
61	4	C	築町市場で長崎の食文化を活かす整備を行う
62	4	C	食文化(クジラ)を復元する
63	4	C	中島川にオープンカフェを開く
64	4	C	路面電車を出島の内側にルート変更する
65	4	C	しがらみを越えたまちづくりを実践する
66	4	C	朝市を実施する
67	4	C	街路樹は存在感がでる大きいものを植える
68	4	C	自動車優先社会から脱皮するため環境整備を行う
69	4	C	外国人観光客に向けた和のおもてなしパックを設定する
70	4	C	さるくコースに健康さるくを設定する(歩数やカロリーを設定)
71	4	C	石畳になっている箇所とアスファルト舗装が混在しており統一した整備が必要
72	4	C	観光ルートから電線をなくす(寺町、中通)
73	4	C	寺町通りの車の交通量を減らす
74	4	C	稲佐方面と浦上川上流に交通船を運行させる
75	4	C	松が枝旅客ターミナルまで路面電車を乗り入れさせる
76	4	C	路面電車に桜町経由で大浦方面、正覚寺方面を新たに運行させる
77	4	C	もみじ谷(火葬場)の煙が市内から見えるので、海が見える郊外に移転させる
78	4	C	出島の中を通らせて
79	4	C	駅から立山までケーブルカーをつくる
80	4	C	肥前としての長崎(視点)
81	4	C	海洋博物館をつくる
82	5	A	長崎駅周辺は交通量が多く、危険。点字ブロックや音響式信号機を増やす
83	5	A	長崎駅周辺に公園や緑地を多くする
84	5	A	長崎駅周辺の景観整備を行う
85	5	A	長崎駅新駅舎は、長崎港が見える、感じるものに整備する
86	5	A	キャラクターを作って、楽しい気分になるように声掛けをする
87	5	A	長崎港のごみ回収船をお洒落なものにする
88	5	A	いろいろ作る前にごみが無くなる取組を行う
89	5	A	長崎駅前～大波止～出島まで回遊できるように商店街を再配置する
90	5	A	歩行者に優しい道路づくりを行う(横断歩道、信号、滞留場所の確保)
91	5	A	長崎らしい斜面の街並みや稲佐山がどこからでも見えるように高い建築物を規制
92	5	A	再開発の空地は芝生や大きな木の木陰で憩えるような空間にする
93	5	A	海、川沿いから山への景観を守る
94	5	A	維持管理をきちんとする
95	5	A	今ある良い場所をよく理解して街づくりを実践する
96	5	A	観光客が気持ちよく街あるきができるように、海、川、道路のごみをなくす
97	5	A	日本人外国人を問わず観光客がわかりやすい案内板の整備を行う
98	5	A	稲佐山頂上までの道のりを確保する
99	5	A	長崎駅など電停のバリアフリー化する
100	5	A	県庁移転に合わせて、浜町商店街も元船地区に移転し、浜町は住宅地等の用途で再開発する
101	5	A	長崎中心市街地全体の回遊性をもっと図る
102	5	A	市全域のサイン計画をつくる
103	5	A	町の裏側から綺麗にしていく

## ワークショップでのアイデア提示(チーム別整理)

(3/3)

番号	チーム	コース	アイデア
104	6	D-1	西坂公園までのエレベーターを設置する
105	6	D-1	西坂公園から眺望を確保するため建築制限をする
106	6	D-1	西坂公園から立山防空壕跡に案内板を設置する
107	6	D-1	長崎駅の案内板を見やすくする
108	6	D-1	駅前広場にモニュメントや植栽を整備する
109	6	D-1	観光地で音声案内、点字案内を整備する
110	6	D-1	バリアフリーを推進する
111	6	D-1	歩車道を分離し、歩行者に優しい道路を整備する
112	6	D-1	電線地中化により景観を向上させる
113	6	D-1	有料駐輪場を作って歩行者の安全を確保する
114	6	D-1	鍋冠山の夜景がきれいであり、もっと駐車を整備する
115	6	D-1	自転車にやさしい街への整備として長崎駅周辺に駐輪場を整備する
116	6	D-1	三菱の環境技術や造船など、工場見学を観光ツアーとし実施する
117	6	D-1	核兵器廃絶世界恒久平和を願う町
118	7	B-1	出島から海が見えるようにする(当時の外国人の気分を味わえる)
119	7	B-1	長崎港沿いで埋め立て部分がわかるように建築物の高さ制限をする
120	7	B-1	松が枝～中央橋～夢彩都～長崎駅を船で結ぶ
121	7	B-1	松が枝ふ頭から水辺の森公園・出島ワーフまでを歩きやすくする
122	7	B-1	松が枝の歩道橋を撤去する
123	7	B-1	駐車を増やす(ただし景観への配慮が必要)
124	7	B-1	松が枝ふ頭に路面電車を乗り入れさせる
125	7	B-1	国道499号から大浦天主堂が見えるように建築制限する
126	7	B-1	ドンドン坂周辺の石置が歩きにくいので再整備する
127	7	B-1	路面電車の乗換え案内をもっと詳しくする
128	7	B-1	観光案内板を整備する
129	7	B-1	不要な看板は排除する
130	7	B-1	主要産業である造船所の見学・観光コースをつくる
131	7	B-1	造船所が見えやすい視点場を整備する
132	7	B-1	長崎駅から稲佐山へアクセスが悪いため、駅から直接ロープウェイをつくる
133	7	B-1	市立図書館の駐車場表示を分かりやすくする
134	7	B-1	風頭公園など視点場からの眺めが木に遮ぎられ見えないので眺めの環境を整備

## ワークショップでのアンケート調査 (1/1)

【Q1】今回のワークショップでは、5つのコースを設定しまち歩きを行いました。今回のエリア以外での都市づくりに対するアイデア・ご意見があればお書きください。例えば、松山、浦上、浜の町など、地区に関する事、平和、医療、産業などを活かした都市づくりに関する事など

【Q2】今後の長崎市中央部・臨海地域の都市づくりに対する意見など、何でも結構ですので、ご自由に意見をお書き下さい。

番号	キーワード	Q1・2	アイデア・意見等
1	交通	1	浜の町商店街への車を減らし、公共交通機関をもっと利用するようにする
2	交通	1	新しくできる長崎駅からの交通アクセスを市内全域へ充実させる
3	道路	1	住吉から道の尾間の交通混雑解消(緩和)に向けた道路整備
4	回遊	2	休めるポイントを少しずつ作り、つないで歩くルートを整備する
5	景観	2	県庁舎の建て方について、駅から海の視点を遮らないようにすべき
6	景観	2	今こそ建物の高さ規制をすべき
7	美化	2	ゴミが多いのが目立ったので、ゴミ拾いプロジェクトのような行事を月1回くらいのペースで取り組んだらいい
8	美化	2	街をきれいにして土台をつくるべき
9	商業	1	浜の町を今後も商業の中心と考えていくべきか、否か、駅周辺との関係もからめて考えて行くべき
10	商業	1	戦後60年が過ぎ長崎の中心的存在の浜の町周辺の世代交代を迎えており、この際、いろんな柵みを越えての街づくりが出来る様になればよい
11	斜面地	1	立山、片淵、西山界限など高齢者所有の住宅で無人化が進む地域や、これから再構築する古い団地などのまちづくりについての意見交換を行う
12	環境	1	これからは環境に配慮した街づくりというのが必ず求められてくると考えられ、緑地を始めとした緑の街づくりに関して考えていくべき
13	平和	1	平和、被爆者の方の講演を市民にも観光客の方にも聞くことのできる仕組みや平和活動をもっと押し出していくべき
14	医療	1	医療機関は他の都市と比べても充実しており、安心して子供が産めて子育てできるまちとして人を呼べるような受け入れ体制の整備を図る
15	理念	2	新幹線を活かしたまちづくり
16	理念	2	港に開けたまちづくりを進めるべき
17	理念	2	観光客にやさしい街にする
18	理念	1	産業を活かしたまちづくりをする
19	理念	1	船を活かしたまちづくりをする
20	理念	1	浜口町周辺のにぎわいを創出させる
21	理念	2	対岸地区(稲佐周辺)の活性化策を考えるべき
22	理念	1	観光だけでなく、もっと広く交流を考え、長く滞在する取り組みをつくるべき

ワークショップアンケートのまとめ

1.あなたのことについて

参加者の性別年代別表

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	性別人数
男性	0	3	3	9	5	4	24
女性	5	2	1	1	1	0	10
年齢別	5	5	4	10	6	4	34

参加者の長崎市居住年数別表

年数	5年未満	10年未満	20年未満	30年以上	なし
人数	5	5	7	14	3

参加者のワークショップ経験

経験	あり	なし
人数	9	25

2.本日のワークショップについて

⑤ 全体的

	楽しくできた	まあまあ	楽しくなかった
人数	30	4	0

⑥ 意見は言えましたか

	十分言えた	まあまあ言えた	あまり言えなかった
人数	17	16	1

⑦ チーム作業はどうでしたか

	やさしかった	ちょうどよかった	むずかしかった
人数	5	25	4

⑧ ワorkshop全体の時間はどうでしたか

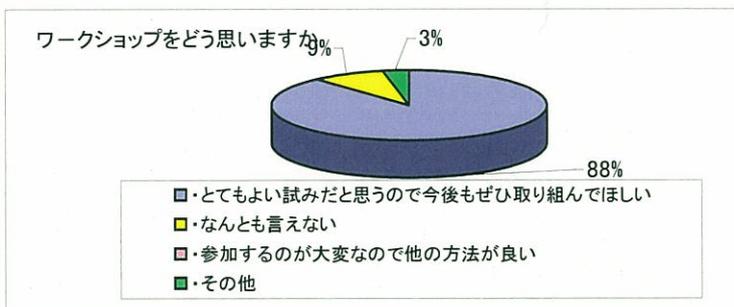
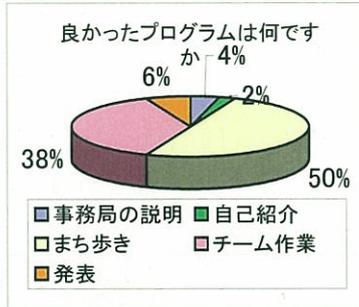
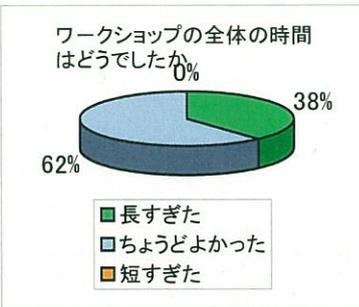
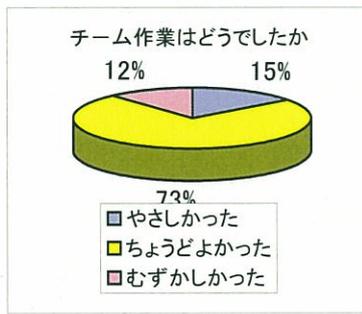
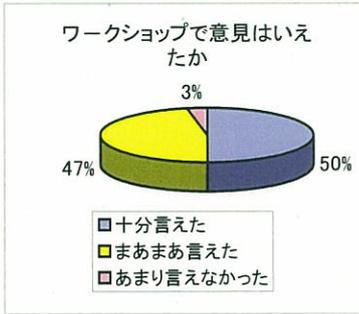
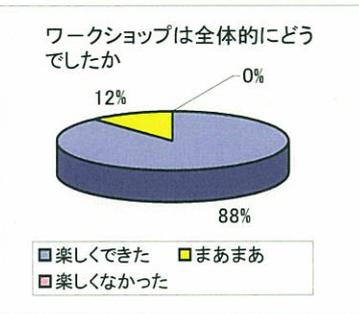
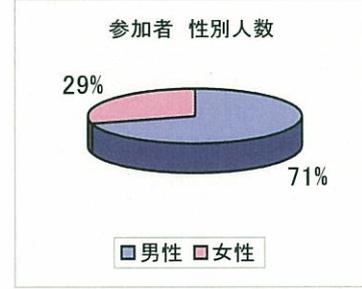
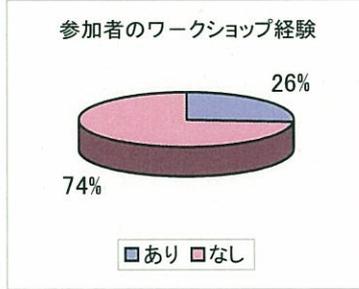
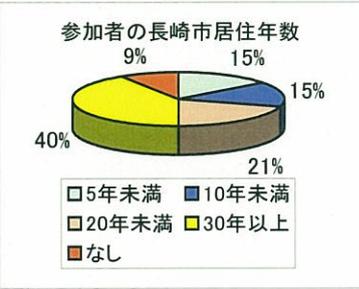
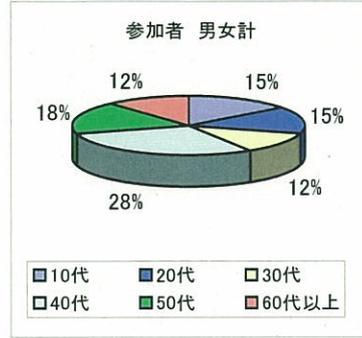
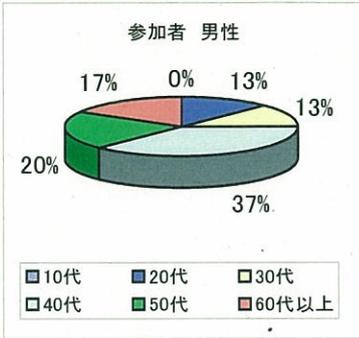
	長すぎた	ちょうどよかった	短すぎた
人数	13	21	0

⑨ 良かったプログラムは

	事務局の説明	自己紹介	まち歩き	チーム作業	発表
人数	2	1	25	19	3
その他 1名	・ まち歩きがもう少し長いと良かった				

⑩ ワorkshopをどう思いましたか

- ・とてもよい試みだと思うので今後もぜひ取り組んでほしい 30
- ・なんとも言えない 3
- ・参加するのが大変なので他の方法が良い 0
- ・その他 1
- ・良い試みだと思うので、開催時期、開催時間、PRなどをもっと工夫してより多く  
の人が参加するようにしてほしい。
- ・まち歩きに時間をかけたい。(180分位)



## ウェブサイトによる都市再生に向けたアイデア募集

大学生、会社員等 9 名からいただいたアイデアをキーワードとして再整理した

区分（目標）	アイデア キーワード
I 国際ゲートウェイ機能を支える都市機能の充実等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際ゲートウェイ機能               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松が枝から韓国、中国に気軽に行ける雰囲気作り</li> <li>・ 日韓中を最短距離で結ぶ地球温暖化防止航路の構築</li> <li>・ 長崎新幹線の線路を直接離島航路と外国航路に結び付けて乗客と貨物の移動で、その利便性の向上を図る。</li> <li>・ 県庁舎移転予定地は「稼げる場」「海のターミナル」として活用</li> </ul> </li> <li>○都市機能の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県庁舎移転予定地は観光客の目に触れるので機能だけでなく緑化、憩いスペースを確保</li> <li>・ 保養と介護、療養の地などの設置</li> <li>・ 陸と海の玄関口の建物の周辺に樹木を林立させ、水辺の森公園と一体となった新たな森の創出、県庁舎移転予定地は暫定緑地として県民に開放</li> <li>・ 長崎中華街の移転(リニュアル)として、臨海地域の一角にゆとりの広さ、店舗数・扱い種類も豊富な中華街の創造</li> <li>・ 徹底した優しさと癒しにこだわった海洋生物の世界の創造、シーワールド建設</li> <li>・ 長崎駅から三菱重工まで路面電車の公共交通整備による環境に配慮した路面電車のまちづくりの推進</li> <li>・ 長崎港西側地域から見る港や対岸の眺望を活かした新たな居住者が住みたくなる斜面地住宅のまちづくり推進</li> <li>・ 三菱長崎造船所の工場群や飽の浦カトリック教会など歴史ある産業や文化の香る東側と異なるまちづくりの推進</li> </ul> </li> </ul>
II 歴史・文化・観光資源の保全再生・創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガーデン都市長崎 路面電車の軌道面緑化、市内公園の芝生化、既存駐車場のグラスパーキング化(AIG横・県美術館駐車場)、並木道の整備（長崎駅から大波止、中島川沿いの柳並木を出島ワープまで延伸）</li> <li>・ キリスト教文化施設等の景観保全、ランドマーク化（中町協会周辺の景観整備）</li> <li>・ 歴史、文化、景観を保全する規制の導入(寺町通り周辺)</li> <li>・ 長崎の芸術活動の発信地、感性の共振の場の創造(元船倉庫群用地を活かし、芸術、演劇などを志す若者が学び、集い、表現し交わる場としての整備、国際性の高いデザイン芸術アカデミー設立)</li> </ul>
III 回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浦上川で分断された地域の一体化（旭大橋の低床化）</li> <li>・ 観光バスの利便性を高める(コース、本数の追加等)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ施設の整備、芝生化（松山競技場周辺）</li> <li>・ 長崎大学の整備、「知」のシンボルとして景観価値向上（赤レンガ塀囲い等）</li> <li>・ 市民と大学の交流の場としての再整備（グラウンド芝生化等）</li> <li>・ 商業、宿泊施設を増やし若者の雇用を創出するため企業誘致し、流出を防ぐ</li> <li>・ 娯楽施設（遊園地等）を増やす</li> </ul>

※ 明朝体は前回提示済み

# ウェブサイトによる都市再生アイデア募集結果一覧 (1/2)

No.	性別	住所	居住年数	年齢	職業	アイデア・ご意見
1	女性	新上五島町	20年～30年未満	40歳～50歳未満	会社員	浦上川で分断された地域の一体化を図るため旭大橋の低床化を行う。 また県庁予定地に於いては、長崎駅・離島航路の発着する大波止にも近くで観光客の目にも触れるので、機能一辺倒ではなく緑の多い、県民・観光客が憩えるスペースを確保してはどうでしょうか。
2	男性	時津町	10年～20年未満	10歳～20歳未満	学生	長崎駅周辺に商業施設を増やし、またホテルなどの宿泊施設を誘致し他県、または外国から来た観光客に長崎らしさ、長崎の良さが分かるようにしてもらいたい。 また、長崎市には大きな企業が少ないので浦上駅付近に、企業を誘致し職を求めて長崎を出ていく若者たちのために魅力のある職場を作る。香焼地区には、余った土地に工場を誘致する。工業生産額が少ない長崎市を発展させるためには不可欠である。 また、長崎市への観光客のリピーターを増やすために、余った土地に遊園地などの娯楽施設を造る。
3	男性	長崎市	20年～30年未満	50歳～60歳未満	会社員	「ガーデン都市長崎の創造に向けて」 歩いて又電車に乗って回れる長崎観光の良さを最大限に生かすために、そして暮らしている人々が質の高い都市生活が送れるように、景観の向上と長崎情緒の進化のために 1 路面電車の軌道面緑化「芝生又は緑化に適する植物による」 (実施箇所) 長崎駅一大波止—思案橋(最優先 理由観光メイン路線) 長崎駅前—松山平和公園 長崎駅前—蛭茶屋 (目的) 都市景観、環境、利便快適性の向上。観光都市の移動手段であるトラムを観光資源として活用。(観光競合都市鹿児島市はすでに2kmの緑化を完成。 2 市内公園の芝生化 市内の小規模公園の緑化「芝生化」、家族、子供と老人が憩える、スポーツできる空間の創出。美しさ再生。近隣住民の方の芝守システムの構築。 3 駐車場(立体を除く)のグラスパーキング化の推進 エリアを定め条例による義務化及び補助制度の創設 都市緑化の推進、景観の向上、ガーデン都市へ 4 美しい並木道の再創出 (1)長崎駅一大波止の道路沿い並木の植え替え。 現状では貧弱。観光メイン動線(ホテル)も多いので長崎のイメージ訴求に大切な景観造成。 (2)中島川沿いの柳並木を切れ目なく出島ワーフまで延伸し回遊性を確保。異国情緒(柳＝中華)の創出。
4	男性	長崎市	20年～30年未満	50歳～60歳未満	会社員	長崎らしい美しい景観を再生し、又観光資源として保全。 1. 中町教会の電車道側のビルを整理(空きビルや景観阻害)し、教会を電車道側からみずべてが見えるように顕在化させ (電車道側を木や花を植え、小公園化する)、長崎らしさの一つの要素であるキリスト教文化の景観(原爆でも倒壊しなかった建物)を何処からでも見えるようにし、観光資源としてその風景を保全する。(長崎駅から近距離にありランドマークの一つとして位置づけ、夜はライトアップする)。 2. 松山競技場をゴルフ場並の芝生のグラウンドに再整備し隣接する松山市営ラグビーサッカー場の緑の人工芝化の実現の時点でBIGNスタジアム、屋内プールを包括するエリアに花と木々を配置し、松山スポーツパークとしてだれもが散策、ワーキング、ジョギング又想いたいと思える美しい景観環境を整備する。 3. 指定エリアには入らないが、大規模公園のない北部地区の緑の基幹公園として長崎大学構内を再整備(グラウンドの芝化、植栽の統一、景観向上)し、土日は市民と大学が交流でき又憩える場として景観の再生と環境の向上を図る。 長崎大学を囲むコンクリート塀をすべて赤レンガ塀に変え長崎らしさを演出し。歴史ある長崎の「知」のシンボルとして景観価値を高める。
5	男性	諫早市	5年～10年未満	40歳～50歳未満	公務員	3. 歴史・文化・観光資源の保全や再生の整備、その周辺等での景観の保全 目的:周辺環境向上と景観保全 場所:県庁予定地 方法:公共事業等伐採予定の樹木を移植してはどうか? 陸と海の玄関口の建物周辺に樹木を林立させ、水辺の森公園と一体化して新たな「森」を創出して県民の憩いの場を創出する。 県庁予定地は、県庁ができるまでの間の暫定緑地として県民に開放できる。
6	男性	長崎市	70年以上	70歳以上	無職	【整備方針2に関連する具体的な事業・プロジェクトについてのアイデア】 新たな居住者が登場せず、高齢化の進行で衰退し続ける「水の浦地区(場所)」では、行政が進める密集事業(道路整備事業)を活かして、地域が主体的に動きながら斜面住宅地の再生に向けたまちづくり(目的)を進めている。「ガーデンテラス長崎」が完成して新たな景観を形成する中で、長崎港西側地域から見る港や対岸の眺望を活かした新たな居住者が住みたくなる斜面住宅地のまちづくりを推進してはどうか。(方法)長崎港東側地域から見た時の対岸に見える緑のまちなみにも十分な配慮を行いながら、官民が協働した開発整備を水の浦地区まちづくり協議会で国の支援を得ながら具体的な事業化に向けて検討している。(現在の取り組み) 【整備方針3に関連する具体的な事業・プロジェクトについてのアイデア】 円山広場によって描かれた1792年の長崎港の鳥瞰図に、稲佐山の麓の入り江の「水の浦地区(場所)」の民家を確認するような歴史あるまちと言える。また、三菱長崎造船所の工場群や鮑の浦カトリック教会など、歴史ある産業や文化の香る建築は斜面住宅地の再生(目的)においても重要な資源であり、東側の船が着く地域に対して西側の船が造り出されるという、東側と異なる歴史・文化を特徴にしたまちづくりを推進してはどうか。(方法)水の浦地区まちづくり協議会は、これまでに三菱重工と話し合いの機会を得ていたが、こうしたまちづくりまでには話が至っていない。今後は、このような地域の歴史を活かしたまちづくりについても意見交換を行っていきたく考えている。(現在の取り組み) 【整備方針4に関連する具体的な事業・プロジェクトについてのアイデア】 「長崎港西側」特に「市道入り船町江の浦線沿いの地域」(場所)へは、道路網ネットワークが悪く、都市再生に向けて国道202号とのアクセスを積極的に行う必要があると言える。臨海地域としてのネットワーク強化を図るため(目的)に、国道202号と市道入り船町江の浦線を中間部でもある水の浦地区の道路整備によってアクセス性を高めるはどうか?また、長崎駅から三菱重工までは相当な需要も考えられる路面電車の公共交通整備を行い環境に配慮した路面電車のまちづくりを進めてはどうか。(方法)

No.	性別	住所	居住年数	年齢	職業	アイデア・ご意見
7	男性	長崎市	5年未満	40歳～50歳未満	会社員	松が枝の国際観光船ターミナルには、長崎が韓国や中国に近いというイメージを伝えるために、大パネルで東シナ海と位置図や、長崎(大浦天主堂や軍艦島)、韓国(済州島の城山日出峰等)、中国(蘇州古典園林等)、世界遺産と世界遺産候補などをメインに掲示し、松が枝国際ターミナルから東シナ海のような世界遺産に気軽に行けるという雰囲気作りをしてほしいと思います。日韓中の世界遺産航路として東シナ海横断ルートの中心的役割を松が枝国際観光船ターミナルが担わなければ、長崎ゲートウェイ構想は成功しないでしょう。また、ゲートウェイ構想を成功するには、空港における国内線国際線が隣接するように、長崎新幹線駅、離島航路ターミナル、国際航路ターミナルがいかに関接できるかが鍵となります。これは長崎市から様々な場所に行けるという付加価値を、長崎を訪れた国内外の人々に伝えやすくなり、PR戦略も効果的にできるようになります。松が枝国際観光船ターミナルの役割は、日韓中を世界遺産関係で結ぶこと、日韓中を最短距離で結ぶ地球温暖化防止航路であること、長崎、済州道、上海などの国境を越えた東シナ海圏域を双方向で構築する
8	男性	長崎市	20年～30年未満	50歳～60歳未満	会社員	ガーデン都市長崎を目指して 景観品質を高め快適な環境を作るために 優先してほしいグラスパーキング(芝生化駐車場)の実現。 場所:水辺の森公園内AIG横駐り車場。(県美術館そば) 現在、同駐車場は砂利の簡易舗装であり、水辺の森公園、県美術館、AIG又イベント等に利用されている駐車場として、また公園内のかんりの面積を占める空間としては、その場しのぎの作りであり、公園全体の景観、環境に対し配慮がなされていないように思います。 美術館、AIGはともに屋上の緑化まで配慮されており、同駐車場が砂利の舗装では同地区全体のデザインの統一性が保たれておりません。 長崎の新しい観光資源である同地区の駐車場のグラスパーキング化を実現し一層の緑化をすすめ、景観、環境品質の更なる向上をお願い致します。(全面芝生化は耐久性の意味で難しい面もあるかと思いますが)で石畳と芝を組み合わせた形でもよいかも知れませんが)
9	男性	福岡市	10年～20年未満	40歳～50歳未満	会社員	“長崎中華街”の移転(リニューアル) ・期待して訪れた“長崎中華街”にちょっと期待外れのガッカリ感を感じたことを忘れません。 ・臨海地域の一角にゆとり広さ、店舗数・扱い種類も豊富な中華街の創造(移転:リニューアル)。 ・全国で“東の横浜”“西の長崎”と印象付けられる中華街の出現。  優しさ・癒しをテーマとした“シーワールド” ・長崎動物園に家族で訪れた際の“ペンギン”の癒し効果が今でも心に残っています。 ・“驚き・大きさ・圧倒・圧巻・すごさ”は不要。 ・徹底的に“優しさ”と“癒し”にこだわった海生生物の世界の創造。 ・水族館ではない。海の動物園でもない。ここに来れば、癒され、優しくなる“シーワールド”。 ・多くの海生生物は不要。少数精鋭・ペンギン(各種)、イルカ(カマ、バンドウ、白)、ラッコ、クラゲ(各種)、ゴマフアザラシ など。 ・九州  上記、2テーマの組合せによる“長崎県臨海地域の都市再生”・・・ご提案させていただきます。
10	男性	長崎市	20年～30年未満	50歳～60歳未満	会社員	「長崎の芸術の発信地と新しい海辺の景観」の創造。 元船遊歩道沿いの古い倉庫群を取り壊し(または一部再利用)芸術、演劇などを志す若者が学び、集い、表現し交わる場として、国際性の高い広い意味でのデザイン芸術アカデミーを設立し長崎の芸術活動の発信地、並びに感性の共振の場を創造する。 またこの学びと活動の成果を通じ長崎の地域ブランド力を高め、又この地での小イベントを計画的に実施し、併せて駅から県立美術館までの海辺の人の動線(元船遊歩道、同埠頭プロムナード)を活性化させ観光客にも親しまれる賑わいの地区を再生する。 建物は世界の建築デザイナーにコンペし、芸術と海辺の街にふさわしい建物とし長崎の新しい景観の都市資産を目指す。
11	女性	佐世保市	5年未満	30歳～40歳未満	公務員	○観光地間の回遊性を高めるために、観光バスを使いやすくしたらどうか(ルートを広したり、本数を増やしたり)。 ○長崎市内にはさまざまな通りがあるが、それぞれの歴史、文化、景観を保存するような規制をかけたかどうか。(例:寺町通りにある建物は、奇抜な色や形のものを作らず、昔ながらの街並みを保存するようにするとか。)
12	男性	長崎市	40年～50年未満	70歳以上	無職	長崎新幹線の線路を、直接、離島航路と外国航路に結びつけて乗客と貨物の移動で、その利便性の向上を図る。 長崎県の離島の活性化を図る。 保養と介護、療養の地などを設置する。 埋め立て地を「稼げる場所」として活用する。  場所 旧魚市跡地の長崎港埋め立て地  方法 フェリーとジェット海の海のターミナルを設ける。  なお、観光船岸壁は、長崎新幹線とは、直接結びつかない。

9人12件

## NPOとの意見交換（平成21年9月7日）

資料3-3

日 時:平成21年9月7日 10:00-12:00

場 所:出島交流会館4F会議室

参加者:NPO法人等8団体10名、県・長崎市関係課職員10名の計20名

### 【Q】都市再生に対するアイデアに関することなど

番号	アイディア・意見等
1	お金が落ちる仕組み、宿泊させる仕組みを考えるべき(パックスツアーでは地元にお金はあまり落ちない)
2	持つと細かな分析が必要、例えば、修学旅行の動向を確認すべき(体験型への移行)
3	長崎の歴史を紐解くと宝の山は沢山ある(医療は長崎大学の貢献、商業はオランダ商館など)
4	外国人に何を買ってもらうのか研究が必要(カステラを買っている人はいない、近年では百貨ショップ、化粧品等)
5	ハウステンボスの様な滞在型ではなく、居住型のオランダの新しい新地のような第二の出島をつくり、住む人たちの心を伝えるべき(外国人の生活・会話を見せる)
6	長崎の特徴である異文化共存の価値を世界にPRすべき
7	東洋と西洋の接点を観光の目玉にすべき
8	長崎の街の魅力を高めるためには、建物の色・形などを決めて整備する必要がある(飛騨高山ではまちなみの整備を徹底している)
9	地球温暖化対策として、輸送体系を「航空機とトラック」から過去の「鉄道とフェリー」に復活させるべき
10	新幹線と離島・国外航路を直結させるべき(魚市跡地にフェリーターミナルを移設する)
11	JR連続立体交差事業の高架下の活用方法を考えるべき
12	都市再生について、大いに郡部も活用すべき